

「原発ひなん」の
ロールプレイとは？

YOUはなぜ 最悪の事態を想定しないの？

泊原発の再稼働問題が浮上、昨今の戦争では原発も攻撃される。

現在の、原子力規制委員会の方針では、とりあえず、自宅に待機するということになっています。

しかし、放射能の数値があがりきってしまったら、誰かが助けに来てくれるのか？
もしも、「最悪の事態」が起こったとき、私たち道民はどうしたらいいのか？



このたびは3.11フクシマ原発事故時の緊迫の6日間の疑似体験です。

会場に来た人たちが、即興で、当時の役割を持った人になって、セリフを読みあいます。

あの事故の時、残念ながら日本では放射能防災の法律は守られなかった。

疑似体験をしてみることで、何ができないことで、できることはなんなのか、みなで考えてみたいと思います。

ても、でも、、何をさておき、緊急事態、過酷事故、複合攻

撃、が起こった時。まず自分だけ逃げる！

も、人の命を救うこと、どちらも人間の本能で、他人がとやかく言えることではない。

それをほんの少し、体験して、北海道の未来を創造してみませんか？

事故が起こってから考えるのでは、できることがとても少ないから。

たとえば、いつでもガソリンは満タンにしておくこと、などなど。

自分の周囲の弱い人を守るために…見えてくるものがたくさんあると思います。

ロールプレイは
読むだけだよ！



☎ 011-891-4382

✉ info@kakehashi.jp

主催 NPO 法人 チェルノブイリへのかけはし